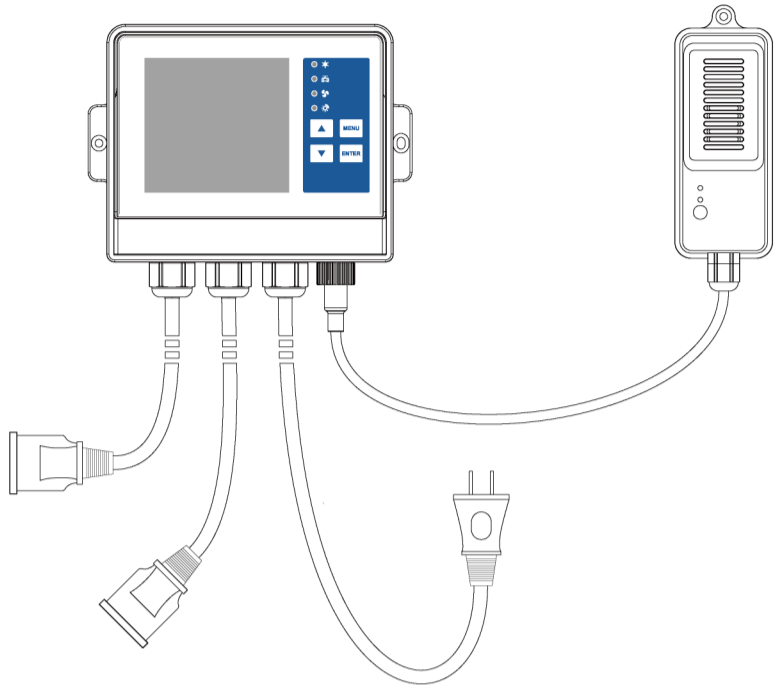




SODATEC Co2 モニター & コントローラー ユーザーマニュアル



この度は、SODATEC Co2モニター&コントローラーをお買い上げ頂きありがとうございます。本製品はリアルタイムのCo2濃度を監視するだけでなく2つのモードの制御出力を同時に行うことができます。ファンモードはCo2濃度が設定値より高い場合に排気ファンを制御し、Co2モードはCo2発生装置やCo2ポンベに取り付けられたレギュレータを制御して植物の成育に必要なCo2濃度を増加させます。

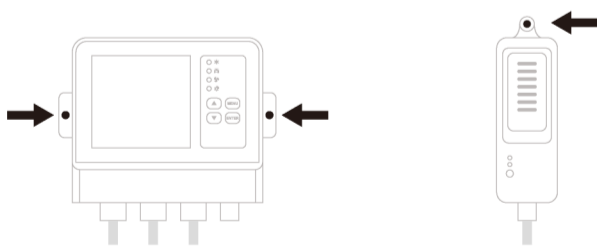
コントロールパネル表示



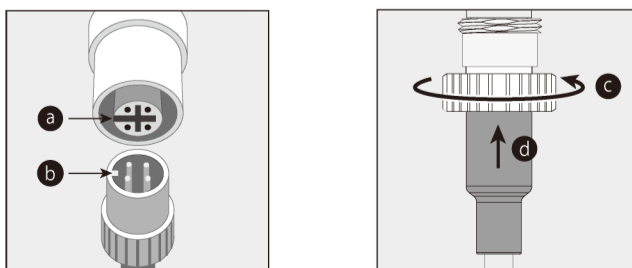
- ★ 電源インジケータ
- ☒ Co2バルブインジケータ
- 🌀 ファンインジケータ
- ☀️ 光センサーインジケータ
- ▲ 値を大きくする/項目の移動
- ▼ 値を小さくする/項目の移動
- MENU メニュー
- ENTER 入力し、保存する

インストール & 使用方法

- ① コントローラーを設置するのに適した場所を選びます。コントローラー本体とセンサー部を付属のネジで固定する。



- ② リモートセンサーとコントローラーの接続: ⑥の切り欠きに注意しながらコントローラーに押し込み、中央の金属部分を矢印の方に回転させます。



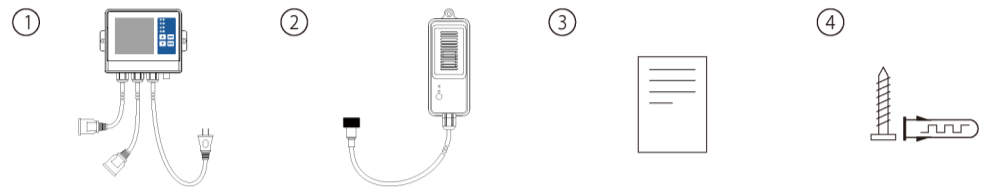
- ※ 金属部品をきつく締めすぎないでください。
- ※ 接続が失敗した場合はE1が表示されます。

⚠️ 使用上の注意

- 本器や電源プラグを熱源の近くに置くと、火災の原因となることがあります。
- いかなる状況でも、コントローラーを開いたり、露出した電子回路に触れたりしないで下さい、感電の恐れがあります。
- 本体に衝撃を与えないで下さい。センサーの精度が低下する可能性があります。
- ファン出力プラグに接続される電気機器の消費電力は、100Vで15A未満でなければなりません。
- Co2バルブ出力プラグに接続する電気機器の消費電力は、100Vで5A未満でなければなりません。

製品の紹介

パッキングリスト

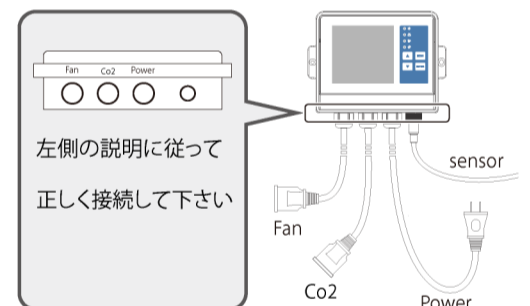


- ① 本体、1.5mの電源ケーブルと0.4mの電源出力ケーブル
- ② 5mの4芯シールドケーブルと防水コネクタを備えた外部Co2センサー
- ③ 取扱説明書
- ④ 取付ネジ x 4

主な特徴

- デュアルチャンネル低ドリフトNDIR Co2センサーを装備
- Co2濃度、時刻、日付をリアルタイムに表示
- 外付けCo2センサー 5mケーブル付き
- 光センサー内蔵、ON/OFF選択可能
- バックライト付きHD大型ディスプレイ
- 簡単タッチボタン操作
- Co2ピーク値を記録
- センター値、ゾーン値を簡単に調整できます
- 温室、栽培室、家庭、建物など屋内の使用に適しています

- ③ Co2バルブモード: Co2発生装置またはCo2ポンベに接続したレギュレータをCo2と書かれた出力ソケットに接続します
- ④ ファンモード: FANと書かれた出力ソケットに換気扇を接続します

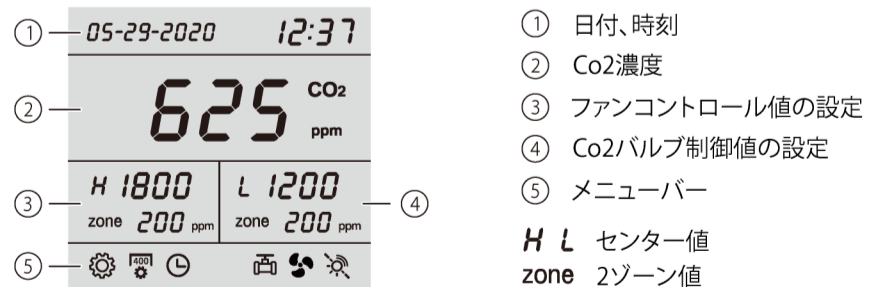


パワーON

電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込み、本製品の電源を入れます。40秒のカウントダウンが完了したら、すぐに使用できます。追加の設定や校正は必要ありません。測定されたCo2の数値は、6秒ごとに更新されます。

- バックライトは約20秒持続し、どのボタンを押しても点灯します
- 電源が供給されると、電源ランプが点灯します

コントロールパネル



- ⚙️ セットアップメニュー
センター値、ゾーン値を設定する
- 🕒 タイムメニュー
日付と時刻を設定します
- 🌀 手動校正メニュー
Co2濃度 400ppmのワンキー校正
※使用に注意
- ☒ Co2バルブ 作動状態
- 🌀 FANコントロール 作動状態
- ☀️ | 🌑 光センサーモード ON/OFF

ピーク値

通常の状態、▲ ボタンを押すと開始から現在までのCo2ピーク値を表示します。

使用方法

- Co2濃度が Center 値+(1/2)Zone 値 を超えると、ファンインジケータが点灯し、ファン出力ソケットに電源が供給されます。Co2濃度が、Center 値-(1/2)Zone 値 より低くなると、ファンインジケータがOFFになり、ファンへの電源が遮断されます。

ファンの設定は例えば、こんな感じです：
Center値を1500ppm、Zone値を200ppmに設定した場合、Co2濃度が $1800+(1/2) \times 200=1900\text{ppm}$ を超えると電源が入り、 $1800-(1/2) \times 200=1700\text{ppm}$ 以下になると電源がOFFになります。
※ファンのCenter値は**1800~3000**、Zone値は**100~200**の間で設定できます。

- Co2濃度が Center値-(1/2)Zone 値 より低い場合、Co2バルブインジケータが点灯し、Co2出力ソケットに電源が供給されます。Co2濃度が目標レベルに達しCenter値+(1/2)Zone 値 より高くなると、Co2インジケータが消えCo2ソケットの電源を遮断します。

Co2バルブの設定は例えば、こんな感じです：
Center値を1200ppm、Value値を200ppmに設定した場合、Co2濃度が $1200-(1/2) \times 200=1100\text{ppm}$ 以下になると電源が入り、 $1200+(1/2) \times 200=1300\text{ppm}$ 以上になると電源がOFFになります。
※Co2バルブのCenter値は**800~1500**、Zone値は**50~300**の間で設定できます。

- 日中、光を感知すると光センサーインジケータが点灯します。光が無いことを検知すると、全ての出力ソケットの電源を遮断し、インジケータも消灯します。
- 光センサーを無効にした場合、光センサーインジケータが消灯し、昼夜を問わずCo2濃度で出力を制御できます。

設定

メニューバー

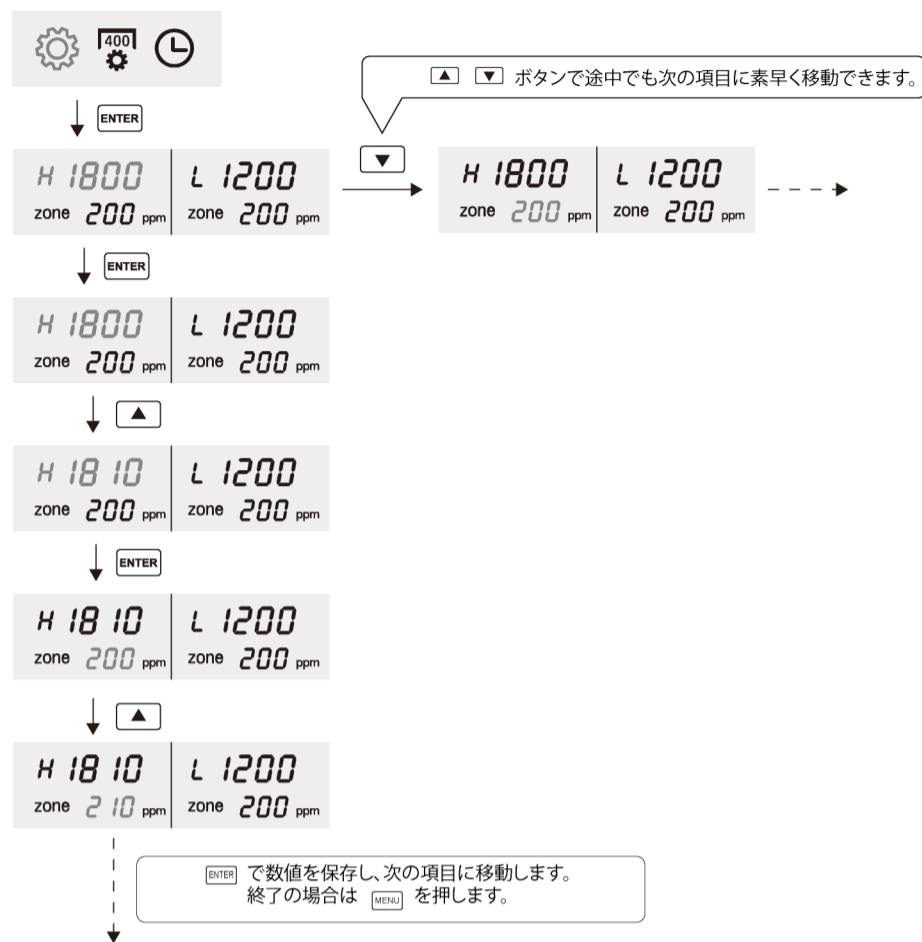
- MENU** を1回押すと、 が点滅します。 を押すと機能項目が切り替わります。
- の点滅時に、**MENU** を押せばメニューバーを終了します。
- の点滅時に を押すと光センサーを無効にし、表示が に切り替わります。
- メニューバーは、30秒間操作が無い場合、自動的に終了します。

4

Center値とZone値の設定

- メニューバーを起動し、 が点滅したら **ENTER** を押す。Center値が点滅をはじめたらもう一度 **ENTER** を押し、 で数値を調整します。
- ENTER** をもう一度押すと次の項目Zone値に切り替わります。Zone値が点滅を始めたなら で数値を希望の数字に合わせます。**ENTER** で次の項目、Co2側の設定に入ります。**MENU** を押すと設定を保存し終了します。

例：

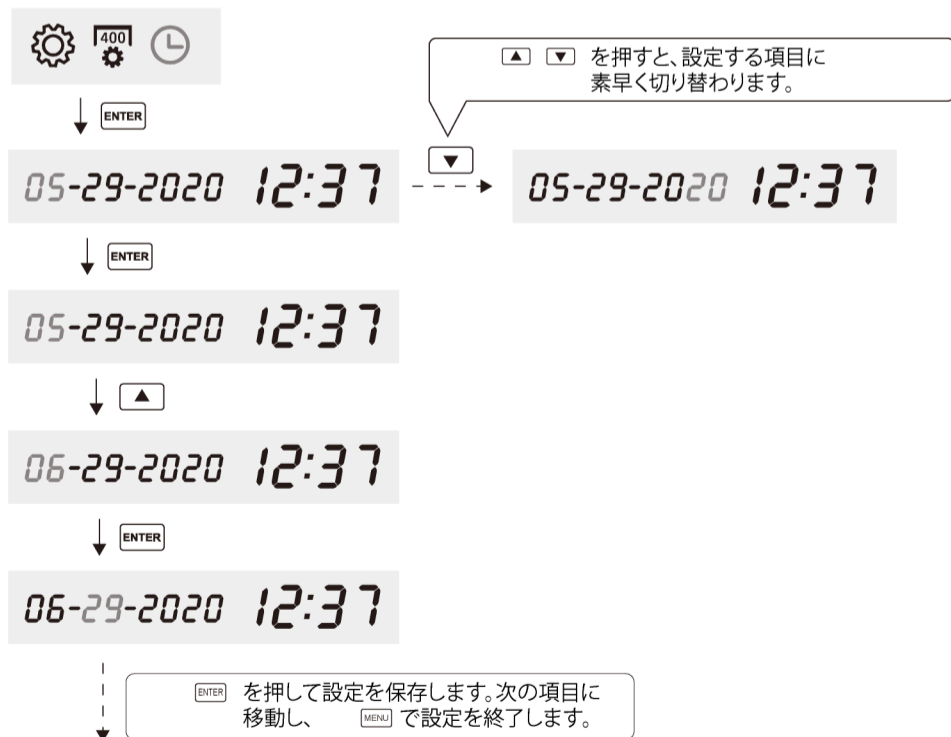


5

日時の設定

- メニューバーを起動し、 を選択し、**ENTER** を押し、 で変更したい項目を選択します。
- 数字が点滅を始めたなら、 を押して値を調整し、**ENTER** を押して保存し、次の項目に切り替わります。

例：



校正の仕方

- 校正を行う前に、窓を大きく開けてセンサー部付近のCo2濃度を400ppmにし、本機を20分以上稼働させる。
- メニューバーを起動し、 を選択し点灯したら **ENTER** を押します。そして3秒間 **ENTER** をビーブ音が聞こえるまで長押しします。250秒のカウントダウンの後、校正は終了です。

工場出荷前の状態に戻す場合

通常の状態、ビーブ音が鳴るまで **ENTER** を3秒間長押しします。

7

仕様

モデル	Sodatec Co2 コントローラーPRO
Co2測定範囲	400 ~ 10000ppm
測定精度	0~3000ppm ±50ppm +5% ≥3000ppm ±50ppm +7%
ウォームアップ時間	30 秒(コールドスタート)@ 25° C
応答速度	63% ステップチェンジ<2 分, または 90% ステップチェンジ<4.6 分
動作温度	0° C ~ 50° C
保存温度	-10° C ~ 60° C
動作保障湿度	5 ~ 95% (結露しないこと)
サイズ	本体 : 166 x 45.5 x 122 (mm) センサー部 : 50 x 34.5 x 130 (mm)
重量	1.50kg (全体)
入力電圧	100 ~ 240VAC
最大出力	5A Co2バルブ用 15A ファン用

免責事項

本装置は、危険な場所によるCo2モニタリングや、人間や動物の健康維持、生命維持、医療機関のモニターとして意図されていません。

本製品の使用または故障により、ユーザーまたは第三者が被った損害についてメーカーは一切の責任を負いません。

8